

慶應義塾幼稚舎同窓会員 各位

同窓会員の皆様に幼稚舎のグラウンド中央に聳える2本あるケヤキの木の1本を伐採することについてお伝えいたします。

かねてより連合同窓会や社会人同窓会、『慶應義塾幼稚舎同窓会報』などでお伝えしてまいりましたが、このたび、腐朽化が進む朝礼台から見て右側の1本を伐採することにいたしました。同窓生の皆様におかれましては、ケヤキの木は幼稚舎のシンボルであり、皆様の大切な心象風景としていつまでも残るものであることは重々承知しております。このたび、断腸の思いで伐採を決定いたしましたのは、倒木の恐れがあり、在舎生にとって大変に危険な状態であると判断した上でのことであります。どうかご理解やご容赦を賜りたく存じます。

本来の計画では、6月初旬の連合同窓会でお知らせし、台風の到来を迎える前までに伐採をする予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、伐採の期日を引き延ばしておりました。今後、東京地方に荒天や積雪の恐れがあることを考えると、甚だ残念で悲しいことではございますが、予定通り伐採することにいたしました。

期日が迫ってのお知らせとなりますが、伐採は2021年1月15日(金)の午後を予定しております。当日の天候などによっては、3月22日(月)に延期する場合がございます。

当初は、ご希望される同窓生の皆様のご参観を認めることを考えておりましたが、多くの方がお越しになることは舎内の密を避けることができないと考え、在舎生と教職員のみで静かに、そして穏やかに、感謝の気持ちを持って見送ることにさせていただきます。こちらもご承知くださると幸甚に存じます。

尚、当日の伐採の様子や12月11日(金)にすでに執り行った「清祓の儀(地鎮祭)」の詳細については、後日発行予定の『同窓会報』にてお知らせいたします。

現在、舎内に「ケヤキ ワーキンググループ」という委員会を立ち上げ、伐採までのスケジュールや伐採後のケヤキをどのように活かしていくかの検討を重ねております。こちらのことも『同窓会報』にてご案内する所存でございます。

直前のお知らせになり甚だ心苦しく存じますが、今後ご理解やご厚情を賜りたく切にお願いを申し上げます。

2020年12月19日

慶應義塾幼稚舎長
兼 同窓会長 杉浦 重成